



なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



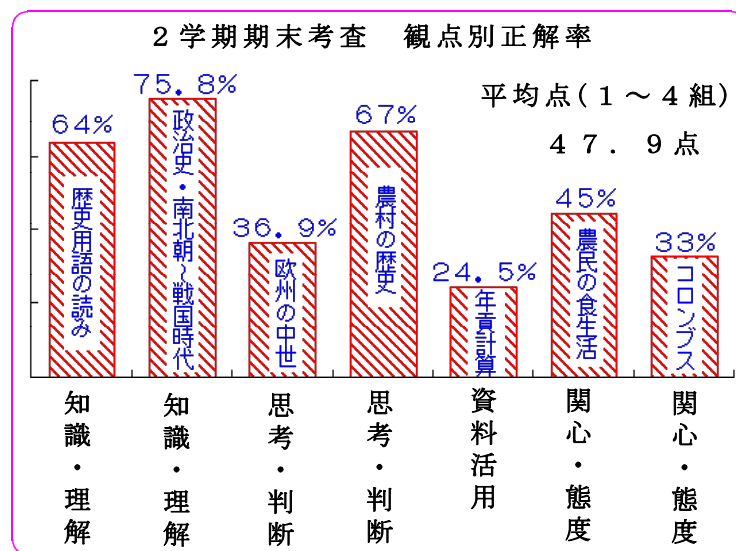
No. 6 - 1 / 4

つまづいた年貢の計算

君はどこで、わからなくなったか

もう一度考えてみよう。

「今回の期末考査は、時間が足りなくて、自分の意見を書くことが十分にできなかった」と、試験の後で多くの人から聞きました。時間配分を計算しきれな



った点については、先生のミスです。この点については、おわびしたいと思います。

さて、観点別に見た期末考査の正解率は、左の表のとおりです。いぜんとして、「知識・理解」の問題については、君たちの強さが発揮されています。

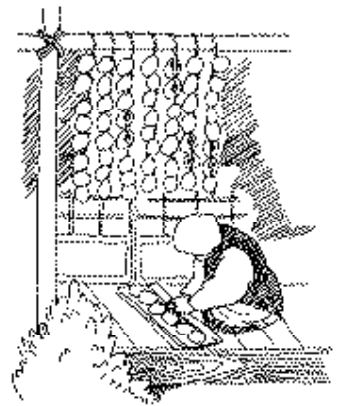
しかし、ヨーロッパの

中世(封建時代)から世界進出までの、因果関係を問う問題(「思考・判断」)に対しては、弱さをさらけ出した、というように考えることができるでしょう。ヨーロッパ人が日本に来る経過に関しては、時代の流れ(因果関係)をきっちりと構造化して、自分で図式できるところまで、理解しておいてほしいところです。

一方、同じ「思考・判断」問題でも、室町時代から江戸時代までの農村の歴史を思考する文章題では、正解率が高くなっています。他方は、記述式の問題で、一方は選択問題という問題の出題方法の難易度が異なるとも言えます。しかし、内容的には「農村の歴史」の方が高度な内容になっています。そこから考えられ

ることは、文章的に確認することは容易でも、図式になると、構造が明確につかめていなければ、・再現できない・思考できない・ということでしょうか？

また、「資料活用技能」を試した「年貢の計算」は、残念ながら、ほとんどできませんでした。内容的に見ると、村高や本年貢は読めていました。しかし、年貢率を%で計算できませんでした(1～4組で、できた人は5人もいません)。さらに、米が「畑でできない」ということを忘れていた人が、圧倒的に多かったのです。そのために、村に残った米を計算するところで、もともとの米の量を村高にしてしまう「誤り」をしています。計算結果の誤りはともかく、計算式が論理的に成り立たないという、致命的な「答え」がほとんど全員の答案でした。この点の「つまづき」は、「田でしか、米(稲)は作られていなかった」ということを確認することで解消されると思います。後日、もう一度、「年貢の計算」を学習するためのプリントを配布したいと思います。



ところで、「関心・態度」を試した2つの問題では、歴史的事実に基づいて社会的に自分の考えが表現できるかを試しています。これまでに比べると、多くの人が、自分の意見を書くことになれてきたようです。しかし、まだまだ、「感想文」になってしまっている「答案」が多いのも事実です。

以前の「なんでやねん」で書いておきましたが、1つの事実を社会的にとらえることが、「社会事象に対する関心」としての学力内容となります。たとえ、いくら多くの知識をもっていたとしても、それが自分の生き方や自分の人生の問題となる場面で、学んで培った知識が生きなければ、意味がありません。知識が生きていくために役立つためには、「自分の言葉」となった「自由に使える」専門的な知識である必要があります。単なる「カン」や「感覚」ではなく、人類が発見してきた多くの知恵と経験を自分のものにするために、社会科を学んでいるということを忘れないでほしいと思います。

友だちの「作品」から学ぼう。

次に、「江戸時代の農民の食生活に関する自分の意見」と「コロンブスは、英雄か」についての、6点満点中5人以上の人(一部)の作品を紹介します。

ただし、ここに紹介する「作品」は、答案そのまま、修正していません。そのために、内容的に「誤り」が含まれているものがあります。どこが、「誤り」かを探すのも勉強になるでしょう。



尼崎市立小園中学校 第2学年

社 会 科 通 信

な ん で や ね ん

発行責任者 倉橋 忠



No. 6 － 2 ／ 4

「江戸時代の農民の食生活について」

なお、「江戸時代の農民の生活」に関する意見を聞きたかったのですが、学級によって、単元を終了していなかったところがありますので、どの学級も学習済みの「食生活」に限りました。この問題のポイントは、単なる感想ではなく、歴史的事実に対して、どう考えるのかという視点が重要な点になります。特に、幕府の農民支配・政策が、「貧しい農民の食生活」を生み出したことを指摘するかどうか重要な視点です。あわせて、「自分はどう考えるのか」という点です。

1 組 M. O.

今ぼく達は米を毎日食べれる。好きなだけ食べれる。しかも自分働いてかせいだお金で買ったわけではない。外の食べ物も好きなだけ食える。昔の人は、いっしょうけんめいガンバってガンバってつくった米なのに。ほんの少ししかもらえない。それもほとんどこうかんのためになる。何かとてもむなしいようだ。こんな時代があったことはとてもおどろきだった。

1 組 J. K.

ぼくは、食べたい物を、食べたい時に、食べただけ食べれる。でも、江戸時代の農民の人たちは、自分たちで力を合わせて、一生けんめい作った米なのに、幕府にめったやたらと、米をとられていって、思うように食べられなかったと思う。お腹がすいたのをしのぐために、水をたくさん飲んでいたというから、とてもぼくじゃあたえきれないと思う。でもここにぼくがいるということは、そのころの人たちがそんな食生活の中でも生き抜いてきたということだから、とても強かったんだなあと思う。

1 組 S. K.

江戸時代は、年貢をおさめないといけないので、米が、ちょっとしかのこらない。しかし、残った米も、たべれない。今度、米を作るための、肥料を、買わなくてはいけない。金のかわりに米をさしだして、肥料を買う。その肥料が「うんち」。うんちなら、自分のうんちを肥料にしたらいいが、食べ物がゆたかではないので、買わなければいけない。しかも、うんちを「あじみ」するので、いまならかんがえられないことを江戸時代は、やっていた。それだけ、くろうしてきた江戸時代。それを、のりこえてきたぼくたちの祖先たちはすごいと思った。

1 組 T. O.

農民がたべていたものをたべたけど、とてもまづかった。年貢のほかにあまった米があってもそれはたべられなく あわやひえなどをたべて、それに服まで決められ かわいそうだとおもう。もっと平等であってほしかった。

1 組 T. N.

社会の時間にぞうすいを食べたけど、味が無い。毎日あんなものを食うとるのか！？と言いたくなるようなものだったからびっくりした。米がだめなら他の魚とかでもいっしょに食べるならまだいいけど、あんな食べもの食べたことがなかった。まだ少しでも味つけをしたってわかるぐらいだけど本当だったら味が無いと思うし食べてて気分がわるくなるようなものだったから少しかわいそうだった。今なら すきなときにすきなたべものをたべてのんではあたり前だし1週間か2週間ぐらいキャンプに行っても、もっとましな物が食べれると思うとぼくはそんな時代で農民として生きていくのはつらいだろうなと思った。

1 組 H. M.

江戸時代の農民は今、ぼくたちが食べている米とがって ひえやあわを食べていることがわかりました、しかもおかずがなく毎日同じものを食べていることがわかった ぼくは、倉橋先生がつくったぞうすいを食べて気分が悪くなりました しかし農民はあんなものを毎日食べるので、かわいそうだった、ぼくは大名ばかり米をくって農民の気持ちもわかってわってほしいと思った、 ぼくは豊臣秀吉は農民出身なのにどうして農民をいたわってやらないのかと思った、農民出身でも大名になれば性格がかわってずるがしこくなるのかなと思った、ぼくたちは幸せなんだなと思った。

1 組 Y. T.

社会の時間食べた物でも、「まず … 」と思ってしまったんだから、実さいの所 昔の食べ物 は、今の私達じゃ口にすることもできないのではないかなと思う。 誰よりも 一番つらく しんどい思いをして働いているのに あれより ひどい物だと 力もでないと思う。 おかずもないんだから、今じゃとても考えられない。 それに、水で すつごくふくらましてあるだけだと思うから、栄養もくそもないんじゃないかなと思う。 関係ないけど、今みんなの じゅ命が長いのは食生活が昔とちがうからだろうと考える。

1 組 A. T.

江戸時代の農民は、たくさんの米をつくったのに、ほとんど年貢にもっていかれて、自分で作った米を食べられないなんて、めちゃかわいそう。どうして、人を苦しめているものが一番えらい位なんだろう。だから次々に、苦しめられたものが、もつと苦しめることをするようになったんだ。自分がこの時代に生まれずによかったと思う。でも、こうして自分がいるということは、この時代に私の『せんぞ』が苦しい中にも生きてくれたから、今、ここに自分という人間がいるのであるから かんしゃしている。 本当にこの時代の政治はたまらん。こないだ、あわやひえを食べたけどまずかった。

1 組 J. M.

江戸時代の農民は、自分たちが作った米なのに、少しもそれを食べれなくて、本当につらい思いをしたと思う。表向きだけは、士農工商とか言いながら、農民よりも多くの米を食べていた職人や商人は、もとは農民で、にげだして職人とかになったのに、自分たちが米を作らない方が多くの米を食べれると知って、農民をやめてよかったと思っていただろう。毎日あんなひえやあわの雑水を食べていた農民は、よく生きていたなあと思えてくる。自分が農民だったら、真っ先に栄養失ちょうとか、病気とかで死んでしまうだろう。本当に残こくだったと思う。

1 組 R. Y.

私たちは この前授業でたべた ひえや あわ なんかつたべなくても毎日 お米をたべているけど、江戸時代の農民は、ほとんど年貢にとられて1日に少ししかお米をたべられないのは とてもかわいそうです。私なんてひえやあわを 1口たべただけで・まずーい・と思ったのに あんなのを毎日たべるなんて ぜったいにたえられない。 やっぱり身分制度からこういうことがおこっているんだから いいかげんに平等社会にすればいいのになと思う。



尼崎市立小園中学校 第2学年

社 会 科 通 信

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No. 6 － 3 ／ 4

2 組 K. H.

自分たちが、つくっている米を毎日たべられず、しかも年貢か夫米、そのほかのとりたてや、生活に必要な物をかうと、米は1年に2・3回しかたべられない。いつも、あわやひえをたべていると、1番しんどい農民がたえられなくなると思う。自分でたべてみたけど、ぜんぜんお腹いっぱいたべられないと思うし、ぜいたくいえないと思う。

2 組 S. K.

わたしたちの今の生活にくらべると昔の人々の生活は非常にまずしいおもいをしてきた。いくら、はたらいてはたらいて米をつくっても、半分以上は年貢として取られていく。米は、温度や水できまる。もし、水害がおきたり、雨がふらなかつたりすると米ができなくなる、それでも、年貢をはらわなければならなくなる。のまず、くわずの生活がつづく…。けど、わたしたちの生活ははたらけばお金がもらえて、白い米がいったべられて、好きなものがいっぱい手に入る。年貢というのをなくせば

2 組 E. K.

米で、いるものをかって、ぜいをはらっていた。米がなくなるし、せっかくつくっても、半分以上も、幕府にはらわないといけないから、ともしんどいし、はたらいている間しか、ごはんはないから、よくそれではたらけたと思う。米も、少ししかないのに、そんな人たちはたらかせて、その米を、なにも思わずにたべている人は、農民に少しはわけてもいいと思う。農民の生活は、米も少ししかないし、着るものだって1枚か、2枚だと思うし、うつわとかも、そんなもの、いっぱいないだろうし、お米で、お金のかわりにしているんだから、いっぱいもっているものを、わければいいと思った…。

2 組 E. M.

自分たちが作った米を、なにもしない武士や大名などにとられて、自分たちはぜんぜん米を食べられなくてすごく不公平だと思う。1日食べられる米もわずかで、それも農具とかをかったらなくなって、ひえやあわなどのぞうすいを少したべて1日はたらいてこきつかわれてよく体がもつな、と思った。

2 組 M. N.

社会科でたべさしていただいたあのぞーすい。うちの口には、あわなかった。でも江戸時代の農民は、まずいなんてゆってる場合じゃなかっただろうな。だって、農民が必死でつくった米のほとんどどが年貢としてとられていって、うちらみたいに、たべたい時にたべられへんかったし、なにかうのにも米でかっていたんだし、たべるお米なんてなかったんだろな。農民がどれだけはたらいても、たべられへんし、おさめる年貢の料もきまつてるし、不作ってこともあんのに…。ばりかわいそう。たべれたときって、幸せかんじるだろうな、と思う。いっしょうけんめいはたらいているのに自分で作った米がたべれないなんて、ぜったいに、いやだ。でも、あの時たべたのより、もっともつとまずいねんから、そーとなまずさだろうな。やさいのかわりにタンポポとか、ざっそういれるなんて、やっぱまずそー。

2 組 T. M.

農民のたべ物は、（主に）ひえ、あわ、だいこんのは、少しのみそをまぜたものだった。私はそれを5はいくらいたべたけど毎日いつもたべるとしたら、あまりたべたくないなあー。と思いました。それほど、いかにまずしかったのがよくわかった。幕府はけっこうむかつくなあと思った。自分の食べる分と、けらいにたべさせるとしても、おこめがやたらあまると思う。そんなんやったらおこめがくさると思う。少しくらい農民にあげたらいいのになあー。と思った。農民にうまれた人たちはかわいそうだなあー。と思いました。

2 組 T. M.

つい最近先生に、・ぞうすい・を作ってもらったけど、おいしいとは思わなかった。それに、本当なら、たんぼぼの草入れたりするときいて江戸時代の人には、良く、こんな、食べ物だけで、力仕事のできたなあと思う。今の私達ならば、50％以上の人が、がまんできないと思う。江戸時代、それは、私達には、全くわからないものだけど、江戸時代があったから、今の日本がある。とかって思うと、すごく感謝してしまう。

2 組 M. M.

なにか、草とかたんぼぼとかなんでもかんでもいれて、米はちょっとだけしかたべられないのはかわいそうと思った。なんで、自分で米をつくっているのにたべられないのか。なぜ、人に治めなければいけないのか。お金をもらって働くんらいいけど、たたで、しか米がたべられへんなんでぜったいかわいそう。昔の人はろくな物たべてないってゆうけど本まやなーって思った。たべてないってゆうよりも、たべさしてくれへんみたいなかんじと思う。今、ごはんとか残したりとか私たちはできるけど、昔の人は残せる分ぐらいのごはんはたべれなかった。たりないぐらいだろう。そんなのいやや。かわいそすぎる。

3 組 H. O.

この前、江戸時代の農民のごはんをたべました。1週間に1回や3日に1回くらいなら、まだましだとけれども、あんなものを毎日毎日食べていたなんて、とても今の私達の食生活から考えると信じられません。畑を耕したりするのはともしんどく、おなかもすく仕事なのに、自分で作った米が食べられないなんて、とてもかわいそうだと思います。農民は年貢をはらうだけだから、らく、なんてことはぜんぜんありえないと思います。犬に米をやるぐらいならその分、農民にあたえたほうがぜったいにいいと思います。

3 組 H. R.

ひえ、あわ、などで、本当に満足できたのか？私だったら、ぜったいに満足できないだろう。自分が、作った米をたべれないなんて、すごくむなしいと思った。だけど、江戸時代の人達はたぶん、生きるのに必死で、そんなことどころじゃなかったのだろう。それにこの人達がもう、生きるのをあきらめていたら、今の日本はない！

4 組 N. U.

江戸時代の人には、白い米もろくに食べれず、社会の授業で食べたぞうすいのようなものばかり食べていたとは、知らなかった。ぼくは、米を少量しか食べれないのかと思っていたが、一口も米を食べれないことは、この時代の人には、毎日、悲しみにくれながら農業をしていたと思う。家康も「農民は生かさぬよう、殺さぬよう」などどとえぐいことを言ったと書いてあるので大きな差別的なものを感じた。

4 組 T. T.

とても貧しく、ひどいことだと思った。一日中働いていても、1日に1合の飯も食べることができないというのは、普通の人間であれば、「もう少しましにしないで」と感じるはず。しかし、悲しくも徳川幕府にそんな人情まるでなし。「生かさず殺さず」なんて税のとり方はもう悪魔ですね。…とそんなバカげた税（年貢）のとりたてにもめげずに、せっせと米を作っては、自分ではあわかひえを食べる。なんとまあ一けんきよな人達でしょう。食べることはとても貧しくひもじいけれど、この精神力はある。がんばった先祖の人々には、だつぼうものです。



尼崎市立小園中学校 第2学年

社 会 科 通 信

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No. 6 - 4 / 4

「コロンブスは、英雄か？」

また、「コロンブスは英雄か、どうか」という質問に対しては、次の3つの結論を問題上で用意しておきました。

- ①コロンブスは、英雄である。
- ②コロンブスは、英雄でも、侵略者でもない。
- ③コロンブスは、侵略者である。

これら、3つの結論をとった数(1組と2組で)は、解答をした45人中、「①の英雄である」が12人、「②のどちらでもない」が12人、「③の侵略者である」が21人でした。

結論は、どれを採用してもいいのですが、最低限として、自分の結論と理由に論理的な整合性があるということです。そして、最も大切なのは、理由が歴史的な事実に基づいて展開されているかどうかです。

なお、ここに紹介する「作品」は、5点以上の一部です。残念ながら、①の結論をとった人の答案に5点以上のものがなかったのです、①の「作品」は紹介できませんでした。あしからず。

1組 E. I.

③コロンブスは侵略者である。だって、黄金の国ジパングを探しに行ったのは、すごいと思う、そして、ある場所について、そこをジパングと思い込み、かってに、その島に入っていったんでしょ、それに本でよんだけど、何人もの人を殺したとか … だから、コロンブスは侵略者だと思う、最後に 玉子をたてたのはすごいと思う

1組 Y. T.

②新航路か、西インド諸島かよくしらんけど、コロンブスの国では こしょうや、いも、いろんな物をもって来るかもしれないけど、インドなどでは、かってにもってかれるは、さからうと、殺されるはで侵略者だったかもしれない。それに、コロンブスは金もうけをしているから … たとえば、5円でかったもんを10円で売るとか … だから英雄ではない。しかし、ちょうみりやなど手に入るのは英雄コロンブスのおかげかもしれない。だから、どっちともいえない。

1組 T. T.

② コロンブスは、アメリカ大陸を発見したので、その後もいろんな人が新航路を発見するものになったから、それは、いいと思う。でも、そのアメリカの土地の人は、自分たちの国を、他の国の人たちに支配されてしまったので、いやだったと思う。だから、コロンブスは、英雄でも侵略者でもないと思う。

1組 R. Y.

③ コロンブスは侵略者である。 アメリカ大陸をみつけたのはコロンブス。ときけば誰だってコロンブスは英雄だって思うかもしれないけど、インドにいきたかったのにぐうぜんついただだし すごいとは思わない。それに先住民にしてみればコロンブスなんてただの悪者だし、先住民をいように働かして奴隷にするなんて 人間のすることじゃないと思う。

2組 M. A.

③ コロンブスは ほとんどの歴史書には「アメリカ大陸を発見した」という英雄のような感じで書かれてあるけれど、もともとコロンブスは・アメリカ大陸発見・のために、航海していたのではなくて、・商売のため・・金もうけのため・なので、別に英雄でないと思う。(しかもアメリカ大陸に着いた時、インドだと思っていたし …。)しかも大陸に着いた時、人々から物をうばったり、・盗賊まがい・のことしたし …。そして、うばったものをもちかえり それで金もうけしたし…。侵略者とかわりないような気がする。

2組 T. M.

私は③番を選びます。なぜなら、コロンブス達は、そりゃあ、新航路を発見するのは大切なことですが、やりすぎだと思います。自分が、発見できたことだけで、満足すればいいのに、その土地の産物まで、たくさんもちかえり、奴隷のようにあつかうのは、いけないことだと思います。自分の国が、された場合を全く考えず、他の国にはやりにいく、とてもひきょうだと思います。

2組 M. M.

私は③をえらぶ。わけは、先住民がいるのに、その土地をあらして、そこの人たちをどれいにして、こきつかって、自分だけいい思いをしている。それに売ったりとかしているし …。無理にあらさなくても、そこの人たちと、仲よくしたらいいと思う。自分が逆のたちばならぜったいいやと思うのに。そこの人たちも自分たちの土地を守れなくて残念だと思う。

3組 K. O.

③ コロンブスはいろいろなことをしていますがアメリカ大陸はっけんの時のコロンブスは野望があつて こうかいにでたといっていますからばくは侵略者たと思います。しかもスペインの女王かだれかに、大陸を国のものにしますという約束で航海にでたらしゃんりやくせいがあり わる者というかんじがさいきんしました。前まではいい人だと、思っていたのですがとてもざんねんです。おわり

3組 K. T.

③ コロンブスは侵略者である。 インディオが平和にくらしている所に武器をもって行って黄金や宝をうばっていく。 平和にくらしているのだから、その生活をうばってしまうような権利はないと思う。スペインの方ではコロンブスは英雄かもしれないけど、インディオにとっては自分達の領域を犯す侵略者としか思えないだろう。

3組 K. T.

③ コロンブスはアメリカを見つけるつもりでなくインドを見つるつもりだったのにぐうぜんみつけてしまつて英雄だとかいっているけど 先住民にとっては、侵略されたうえにどれいとしてつかわれてコロンブスは英雄でもなんでもないと思う。

3組 Y. M.

③ コロンブスがアメリカ大陸を発見したといっているが、もともとその国はあり、そこは他の民族が住んでいたから たんにそれをうばつたような感じになつたと思う。コロンブスが発見する前に誰かが発見していたという話をきいたこともあるから、もしそうだったら何も残らない人と思う

3組 H. R.

② まず、コロンブスは・アメリカ大陸に着いた・というだけで英雄ではない。そして、ただついただけなので、侵略なんてのは、考えていなかったと思う。 けれど、インディオの人たちは、コロンブスを侵略者だと思っているらしい。私の考えでは、スペインが、侵略しようとコロンブスを、えんじょ したのだから、コロンブスは、多分、利用されたんじゃないかと思う。

4組 T. I.

③ ぼくは3をえらんだんだけど。コロンブスは、アメリカに最初からいたインディアンをどれいとして使つたりして、すごく悪いことをしてたと思う。 インディアンは、コロンブスがくるまでは、平和にくらしていたと思うけど、コロンブスがきてからは、みんな、きつい仕事をさせられて、すごくかわいそうだと思う。そのせいで、インディアンの数はすくなくなつてしまったから、コロンブスは侵略者だと思う。

4組 T. U.

③ のを、えらんだりゆうは、コロンブスはしん大陸発見とか言っているけど実さいはどこかの国へ行って金とか銀とかをもらいに行くのだと思う コロンブスのせいで、いままでへいわだったインディアンも、すごいくろうしてたたかい、そして死でいく みんなコロンブスがいないからいい 行つても何もしないで帰ればよかったんだ。そんなゆめみたいなことを思うからこんなコロンブスみたいなのが生まれるんだ。コロンブスは侵略者である。まさにそのとうりだ。